



Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

**保険者（市町村）－  
地域包括支援センター間  
インタフェース仕様書  
Ver. 1.0**

2013年3月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
保健福祉システム部会 福祉システム委員会

# 保険者（市町村）－地域包括支援センター間 インタフェース仕様書

## はじめに

本仕様書は、平成24年4月介護保険制度改正による介護予防・日常生活支援総合事業において必要となる保険者（市町村）と地域包括支援センターとのインタフェースを定義する。

I. 二次予防事業対象者情報インタフェース

II. 介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタインタフェース

※保険者（市町村）と地域包括支援センター間で、連携が必要な情報には被保険者情報等があるが、この部分は、既存の情報連携を用いる事とし、本資料の対象外とした。

2013年3月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会  
保健福祉システム部会 福祉システム委員会

### << 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

# 目 次

1. 二次予防事業対象者情報インタフェース .....	1
2. 介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタインタフェース .....	12
付録—1. 作成者名簿 .....	17

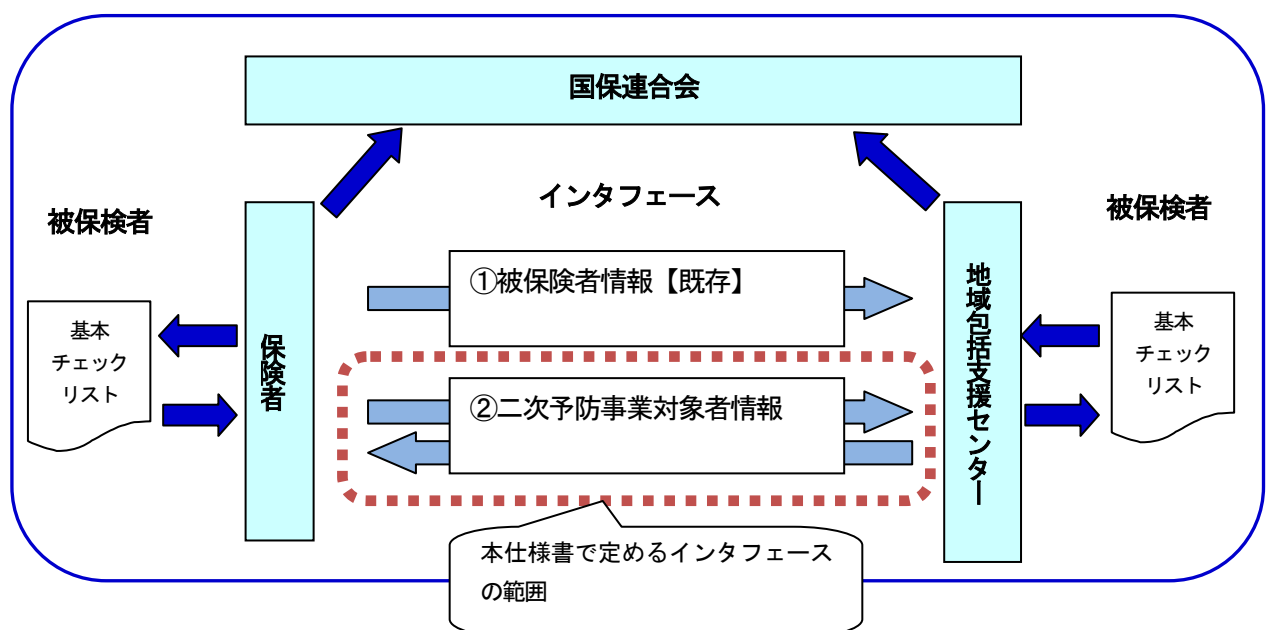
# 1. 二次予防事業対象者情報インタフェース

平成18年度の介護保険制度改正により各市町村に設置された地域包括支援センターと保険者間では、65歳以上の被保険者情報（下表①）の連携が行われている。平成24年度の介護保険制度改正により、介護予防・日常生活支援総合事業の創設されたことに伴い、二次予防事業対象者情報（②）の情報の連携が必要となったため、そのインタフェースレイアウトを定める。

<保険者・地域包括支援センター間で授受する情報>

NO	情報名、概要説明、課題等
①	被保険者情報【現状運用しているインタフェースを使用】
	<p>■概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の地域包括支援センター連携情報を連携する。</li> <li>・65歳以上の被保険者全員を対象として、宛名、資格、要介護認定、減免、給付制限、認定支援ネットワーク情報（主治医意見書、訪問調査書）等の情報を連絡。（要介護認定の非該当も連携）</li> <li>・連携単位は、被保険者全員または異動分（最新のみ）</li> <li>・連携サイクルは、月次または随時。</li> </ul>
②	二次予防事業対象者情報
	<p>■概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者または地域包括支援センターで実施した基本チェックリストの内容、および二次予防事業実施の判定結果を、保険者・地域包括支援センター間で連携することを想定。</li> <li>・二次予防事業対象者の判定日、対象期間、基本チェックリストのチェック項目等の情報の連携を想定。</li> <li>・基本チェックリストの項目については、標準の項目のみとする。</li> <li>・連携対象は基本チェックシート回収者とし、判定の結果、二次予防事業の非対象となった者も含める。</li> <li>・連携サイクルは、月次または随時。</li> <li>・基本チェックシート実施時と実施後の内容訂正時も連携。</li> <li>・連携対象期間内の最新情報のみを連携。</li> </ul>

<介護予防・日常生活支援総合事業における連携図>

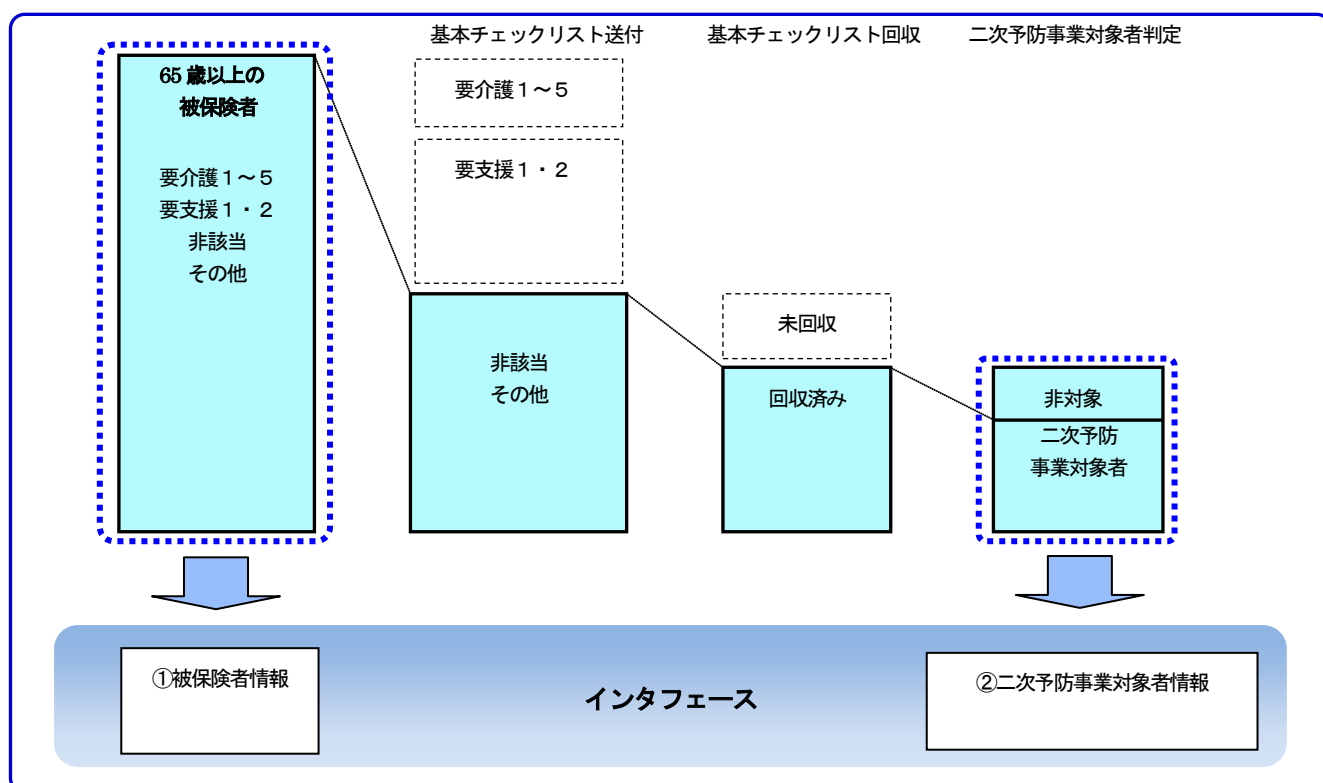


<対象者把握パターンと保険者・地域包括支援センター間の連携情報・授受ルート>

○：連携有り

把握パターン 連絡情報・ルート		二次予防事業対象者の把握 を地域包括支援センターで 行う場合	二次予防事業対象者の把握を 保険者で行う場合
被保険者情報	保険者→地域包括	○	○
二次予防事業対象 者情報	保険者→地域包括	—	○
	保険者←地域包括	○	—

<連携の対象者>



<ファイル仕様>

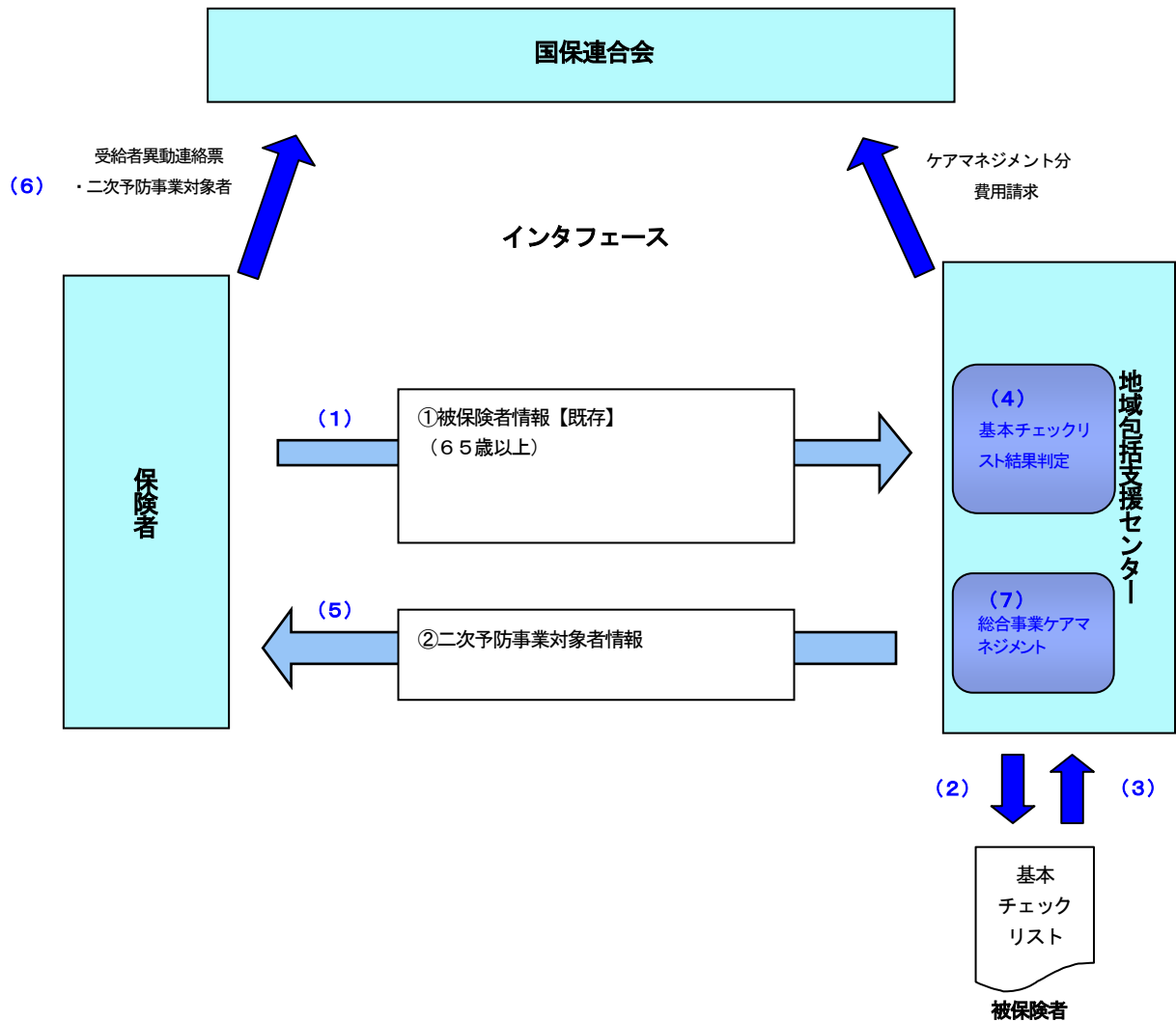
文字コード	シフトJISコード ※2
ファイル形式	①CSV形式（各項目間は1バイトのカンマで区切る） ②固定長レコード 数字項目は「0:ゼロ埋め」 英数項目は「△:スペース」 ③レコード単位の改行あり ④レコードの終わりの「CRLF」あり ⑤NULL文字なし ⑥「”」（ダブルコーテーション）」でくくらないこと。また、「”」（ダブルコーテーション）」は使用しないこと。
ファイル構成	・コントロールレコード、エンドレコードなし
特記事項	・英数字属性の項目にカンマは含まない。
ファイル名	日時YYYYMMDDHHMM_送信元事業所番号(※1)_向き（1:地域包括支援センター⇒保険者、2:保険者⇒地域包括支援センター）_送信先事業所番号(※1)_交換情報識別番号(0010)固定.csv 例) 201201011200_1300000001_1_130000000_0010.csv

- ※1 保険者の場合は、事業所番号に「保険者番号(6桁)+0000」を設定すること
- ※2 国民健康保険中央会提示の介護保険システムインタフェース仕様書[共通編] (p.22) に定められた範囲に準拠  
本インタフェースでは次の文字は使用不可とする

項番	使用不可能文字	文字コード(16進表記)
1	(シングルコーテーション)	27

■対象者把握パターン毎の連携フロー図

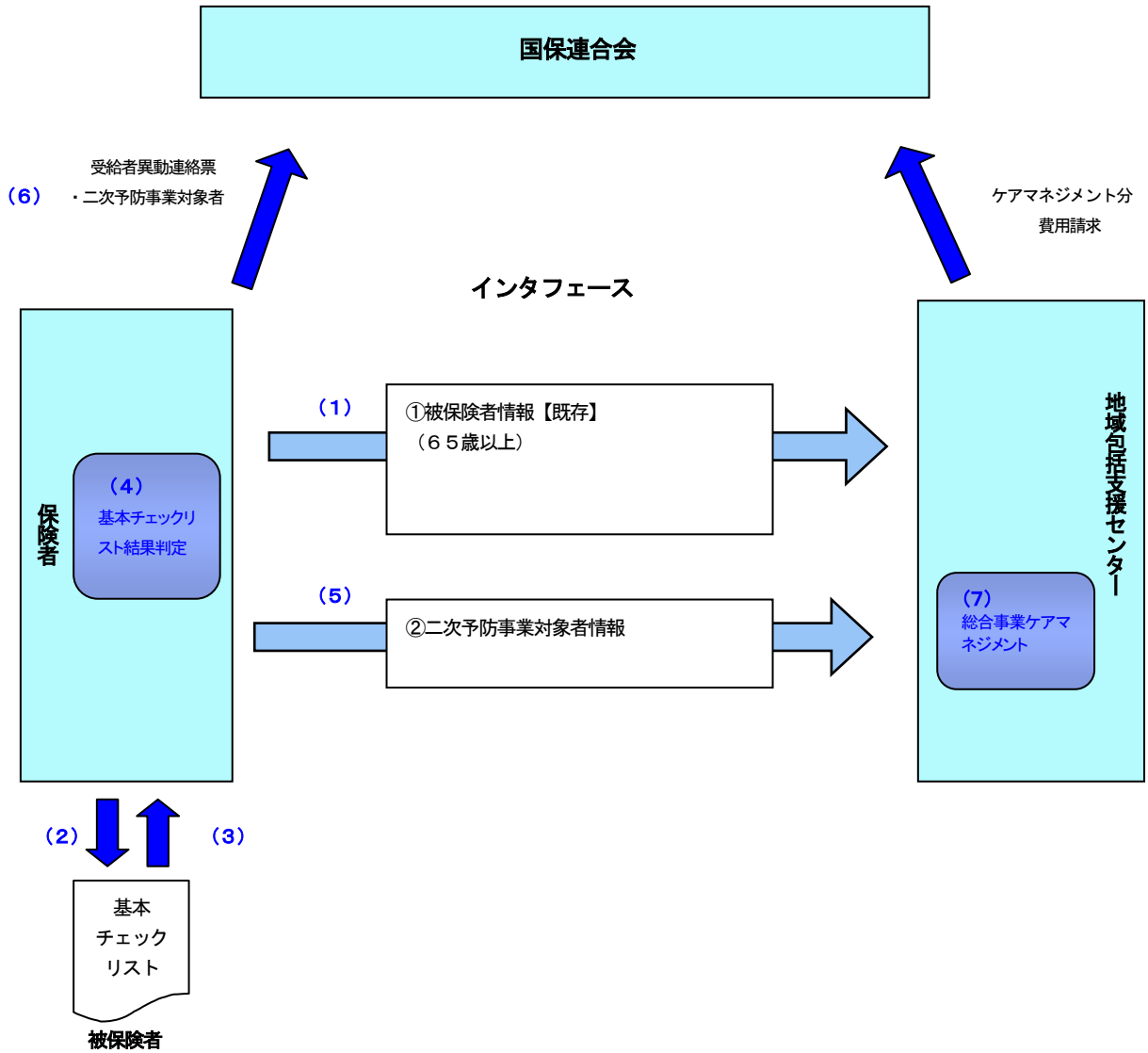
パターン1. 二次予防事業対象者の把握を地域包括センターで行う場合の想定フロー



- (1) 保険者から地域包括支援センターへ、65歳以上の被保険者情報を送付する。(既存機能)
- (2) 地域包括支援センターは、被保険者へ基本チェックリストを送付する。
- (3) 被保険者から、基本チェックリストが地域包括支援センターへ返送される。
- (4) 地域包括支援センターが、基本チェックリストを基に二次予防事業対象者を決定する。
- (5) 地域包括支援センターから保険者へ、二次予防事業対象者情報を送付する。
- (6) 保険者は国保連合会へ、受給者異動連絡票情報を送付する。
- (7) 地域包括支援センターは、総合事業の対象者に対してケアマネジメントを実施する。

■対象者把握パターン毎の連携フロー図

パターン2. 二次予防事業対象者の把握を保険者で行う場合の想定フロー



- (1) 保険者から地域包括支援センターへ、65歳以上の被保険者情報を送付する。(既存機能)
- (2) 保険者は、被保険者へ基本チェックリストを送付する。
- (3) 被保険者から、基本チェックリストが保険者へ返送される。
- (4) 保険者が、基本チェックリストを基に二次予防事業対象者を決定する。
- (5) 保険者から地域包括支援センターへ、二次予防事業対象者情報を送付する。
- (6) 保険者は国保連合会へ、受給者異動連絡票情報を送付する。
- (7) 地域包括支援センターは、総合事業の対象者に対してケアマネジementを実施する。



## ■連携の考え方

二次予防事業対象者の判定後、基本チェックリストを送付した被保険者についての基本チェックリストの回答内容、および二次予防事業対象者の判定結果を設定する。

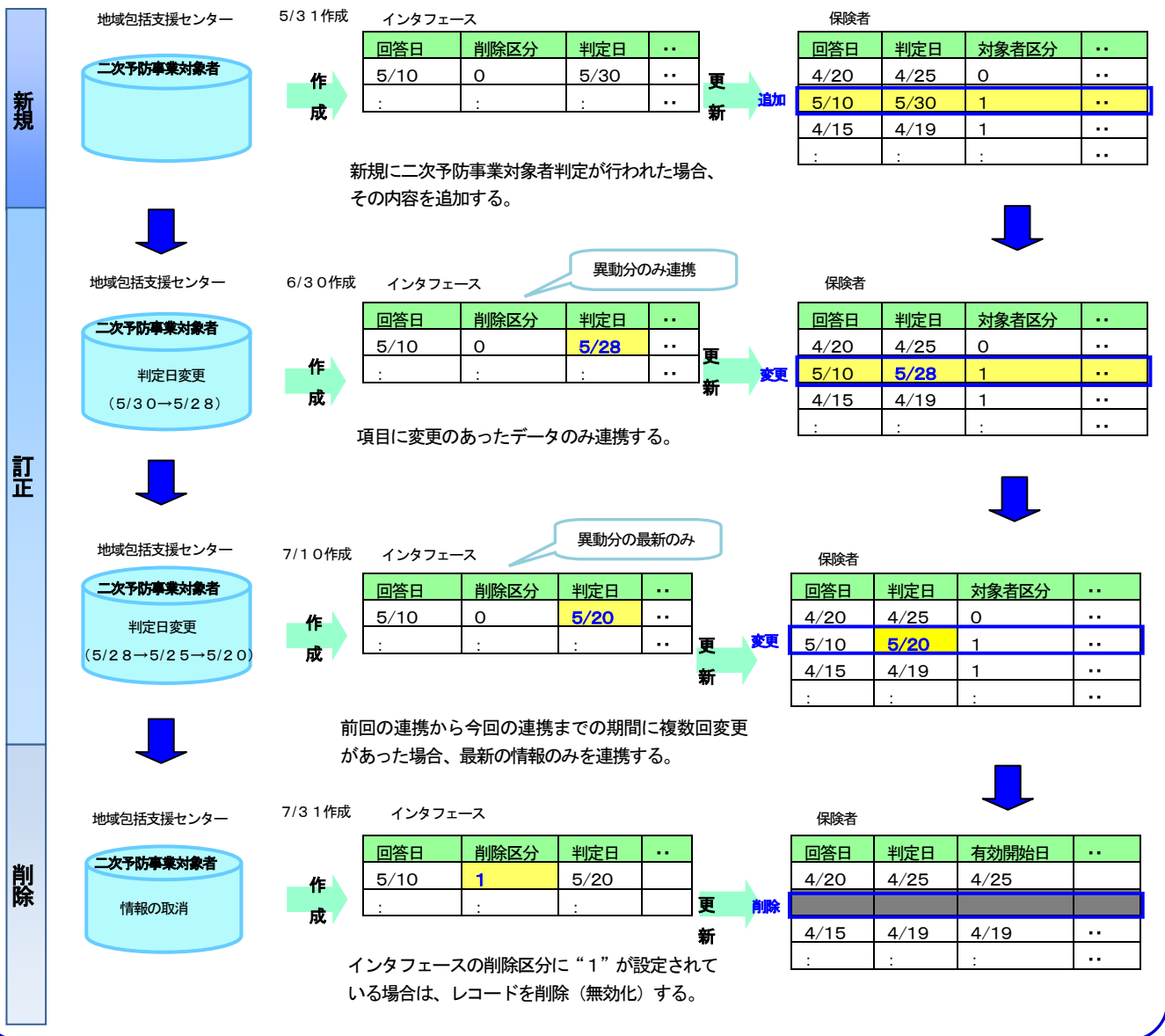
事業所番号	証記載保険者番号	被保険者番号	基本チェックリスト回答年月日	・・・

連携において、キーとなる項目

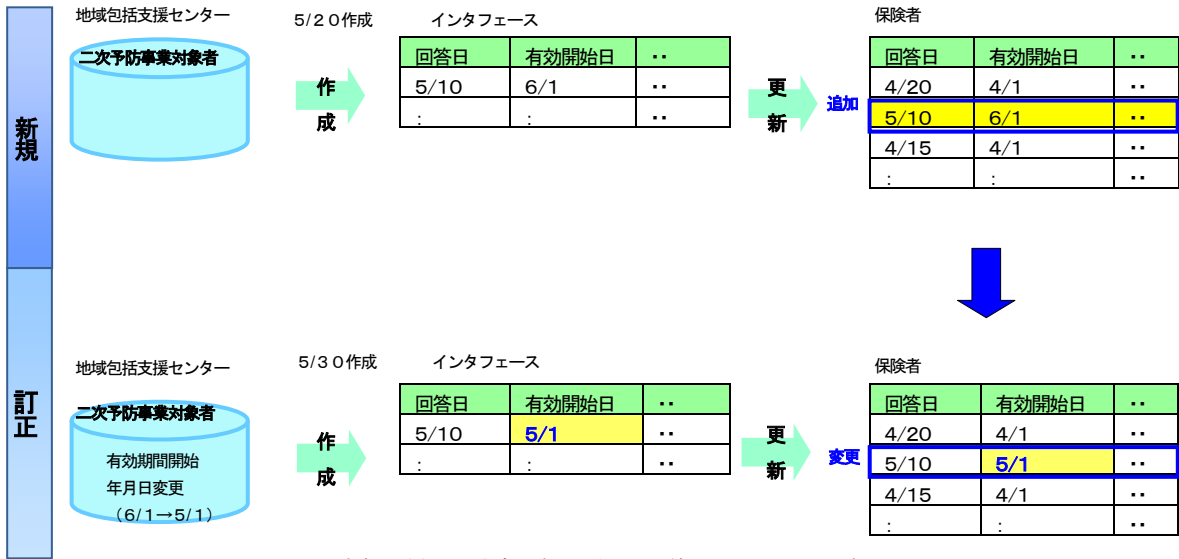
<基本的な考え方>

- ・連携先のマスタと同じキー項目のレコードが存在しない場合 → 新規（レコード追加）
- ・連携先のマスタと同じキー項目のレコードが存在する場合 → 訂正（レコード変更）
- ・インタフェースの「削除区分」が“1”で連携された場合 → 削除（レコード削除）

### パターン1. 二次予防事業対象者の新規作成、訂正、削除方法の一例 その1



パターン1. 二次予防事業対象者の新規作成、訂正、削除方法の一例 その2



有効開始年月日を変更する場合は、回答日は同一のままとする。

二次予防事業対象者情報

項番	項目	属性	桁数	Byte数	項目説明	必須入力	
						保険者 ⇒ 地域包括	地域包括 ⇒ 保険者
1	交換情報識別番号	英数字	4	4	“0010” 固定	○	○
2	データ作成年月日	数字	8	8	二次予防事業対象者情報の作成日（西暦年月日 YYYYMMDD）を設定。	○	○
3 KEY	事業所番号	英数字	10	10	被保険者が属する地域包括支援センターの事業所番号を設定。	○	○
4 KEY	証記載保険者番号	英数字	6	6	介護保険システムでの証記載保険者番号を設定。	○	○
5 KEY	被保険者番号	英数字	10	10	介護保険システムでの被保険者番号を設定。	○	○
6 KEY	基本チェックリスト回答年月日	数字	8	8	基本チェックリストを回答した日（西暦年月日 YYYYMMDD）を設定。	○	○
7	削除区分	英数字	1	1	レコードを削除（無効）とする場合は“1”を設定。それ以外は“0”を設定。	○	○
8	被保険者氏名（カナ）	英数字	25	25	被保険者の氏名をカナ文字で設定。半角 25 文字に満たない場合は、△：半角スペースで埋めること。設定したくない場合、不明な場合も同様に半角スペースで埋めること。	○	○
9	生年月日	数字	8	8	被保険者の生年月日（西暦年月日 YYYYMMDD）を設定。設定したくない場合、不明な場合は「99999999」を設定。	○	○
10	性別コード	英数字	1	1	被保険者の性別を設定。 （1：男 2：女 9：不明）	○	○
11	判定年月日	数字	8	8	二次予防事業の対象か否かを判定した日（西暦年月日 YYYYMMDD）を設定。	○	○
12	二次予防事業対象者区分コード	数字	1	1	二次予防事業の対象か否かを表すコードを設定。 （1：非該当 2：該当）	○	○
13	拡張1	数字	1	1	（9：設定なし）を設定	○	○
14	有効期間開始年月日	数字	8	8	二次予防事業を実施する期間の開始日（西暦年月日 YYYYMMDD）を設定。二次予防事業対象の場合に設定。	○	○

項番	項目	属性	桁数	Byte数	項目説明	必須入力	
						保険者 ⇒ 地域包括	地域包括 ⇒ 保険者
15	有効期間終了年月日	数字	8	8	二次予防事業を実施する期間の終了日（西暦年月日 YYYYMMDD）を設定。二次予防事業対象者の場合に設定。終了日を定めていない場合はゼロ（00000000）を設定する。	○	○
16	基本チェックリスト回答1	英数字	1	1	基本チェックリストの回答欄の、回答された番号を設定。回答されていない場合は”9”を設定。	○	○
17	基本チェックリスト回答2	英数字	1	1	同上	○	○
18	基本チェックリスト回答3	英数字	1	1	同上	○	○
19	基本チェックリスト回答4	英数字	1	1	同上	○	○
20	基本チェックリスト回答5	英数字	1	1	同上	○	○
21	基本チェックリスト回答6	英数字	1	1	同上	○	○
22	基本チェックリスト回答7	英数字	1	1	同上	○	○
23	基本チェックリスト回答8	英数字	1	1	同上	○	○
24	基本チェックリスト回答9	英数字	1	1	同上	○	○
25	基本チェックリスト回答10	英数字	1	1	同上	○	○
26	基本チェックリスト回答11	英数字	1	1	同上	○	○
27	基本チェックリスト回答12	英数字	1	1	BMIの値が入力されている場合で、BMIの値が”18.5未満”の場合は（1：はい）を設定 ”18.5以上”の場合は（0：いいえ）を設定 BMIの値が入力されていない場合は”9”を設定。	○	○

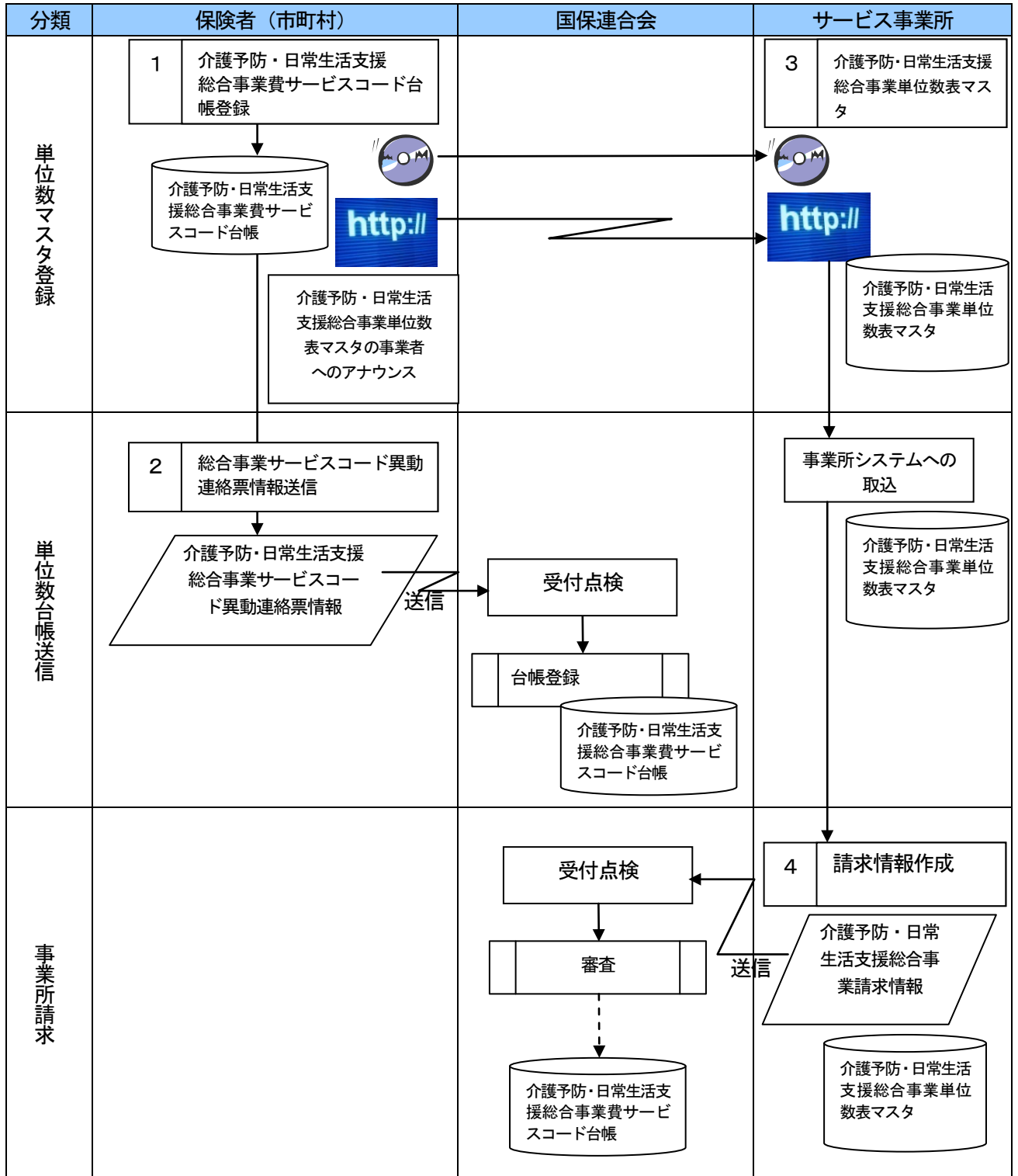
項番	項目	属性	桁数	Byte数	項目説明	必須入力	
						保険者 ⇒ 地域包括	地域包括 ⇒ 保険者
28	身長	数字	5	5	5桁の数字で設定。下一桁は小数点第一位を設定。小数点以下が不明な場合は下一桁に“0”を設定。身長不明時は、“00000”を設定。 例：162.8 cm ⇒ 01628 162.0 cm ⇒ 01620 162 cm ⇒ 01620 (不明) ⇒ 00000	○	○
29	体重	数字	5	5	5桁の数字で設定。下一桁は小数点第一位を設定。小数点以下が不明な場合は下一桁に“0”を設定。体重不明時は“00000”を設定。 例：52.1 kg ⇒ 00521 52.0 kg ⇒ 00520 52 kg ⇒ 00520 (不明) ⇒ 00000	○	○
30	BMI	数字	4	4	体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m)の値を設定。 [例] 19.8 → 0198 不明な場合は“0000”を設定。	○	○
31	基本チェックリスト 回答13	英数字	1	1	基本チェックリストの回答欄の、回答された番号を設定。回答されていない場合は“9”を設定。	○	○
32	基本チェックリスト 回答14	英数字	1	1	同上	○	○
33	基本チェックリスト 回答15	英数字	1	1	同上	○	○
34	基本チェックリスト 回答16	英数字	1	1	同上	○	○
35	基本チェックリスト 回答17	英数字	1	1	同上	○	○
36	基本チェックリスト 回答18	英数字	1	1	同上	○	○
37	基本チェックリスト 回答19	英数字	1	1	同上	○	○
38	基本チェックリスト 回答20	英数字	1	1	同上	○	○
39	基本チェックリスト 回答21	英数字	1	1	同上	○	○

項番	項目	属性	桁数	Byte数	項目説明	必須入力	
						保険者 ⇒ 地域包括	地域包括 ⇒ 保険者
40	基本チェックリスト 回答22	英数字	1	1	同上	○	○
41	基本チェックリスト 回答23	英数字	1	1	同上	○	○
42	基本チェックリスト 回答24	英数字	1	1	同上	○	○
43	基本チェックリスト 回答25	英数字	1	1	同上	○	○

## 2. 介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタインタフェース

保険者（市町村）がサービス事業所・地域包括支援センター等へ保険者（市町村）が定める介護予防・日常生活支援総合事業費サービスコードの周知の流れとインタフェースレイアウトを以下に示す。

### 3-1. サービスコード周知の流れ



- ・市町村で作成した、「介護予防・日常生活支援総合事業サービスコード」については、国保連合会に情報を送信する。初回はすべてのサービスコード情報（介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタ）を送付する。
- ・市町村は作成した介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタをホームページ等で公開し、サービス事業所に告知する。この場合の介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタは、過去のサービスコード情報すべてを包含すること。事業所はこれらの単位数台帳を基に請求情報を作成する。



3-2. 介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタのデータレイアウト

項番	項目	属性	バイト数	内容	必須入力※ 1	備考
1 KEY	証記載保険者番号	数字	6	証記載保険者コードを設定する	○	※4
2 KEY	サービス種類コード	数字	2	サービス種類コードを設定する	○	※4
3 KEY	サービス項目コード	数字	4	サービス項目コードを設定する	○	※4
4 KEY	適用開始年月	数字	6	適用開始年月（西暦年月 (YYYYMM)）を設定する	○	※1 ※3
5	適用終了年月	数字	6	適用終了年月（西暦年月 (YYYYMM)）を設定する	○	※1 ※2 ※3
6	サービス名称	漢字	48	サービス名称を設定する	○	
7	単位数	数字	5	単位数を設定する	○	※5
8	算定単位	数字	2	算定単位を設定する	○	※4
9	制限日数・回数	数字	2	制限日数・回数を設定する		
10	算定回数制限期間	数字	2	制限日数・回数がある場合において、期間を設定する		※4
11	支給限度額対象区分	数字	1	支給限度額対象区分を設定する		※4
12	利用者負担定率／定額区分	数字	1	利用者負担定率／定額区分を設定する	○	※4、※5、 ※6、※7
13	給付率	数字	3	給付率を設定する		※6
14	利用者負担額	数字	5	利用者負担額を金額で設定する		※5 ※7
15	二次予防事業対象者 実施区分	数字	1	二次予防事業対象者実施区分を設定する	○	※4
16	要支援1受給者 実施区分	数字	1	要支援1受給者実施区分を設定する	○	※4
17	要支援2受給者 実施区分	数字	1	要支援2受給者実施区分を設定する	○	※4
18	作成年月日	数字	8	本レコードの作成年月日を設定する	○	※8

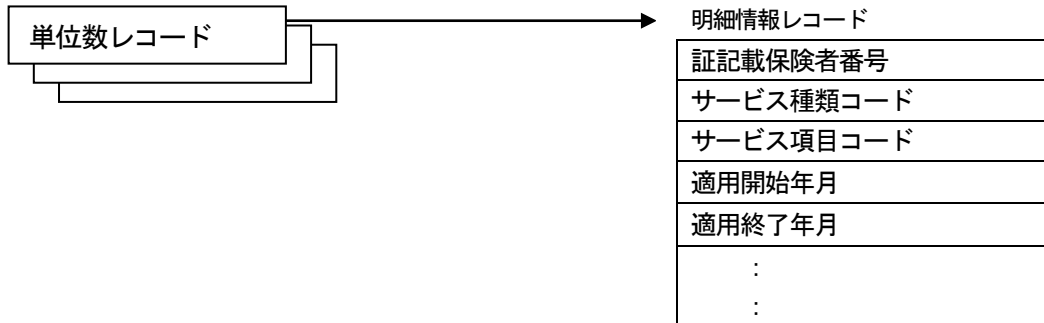
- ※1: 同一のサービス種類コード、サービス項目コードにおいて適用開始年月、適用終了年月が重複しないこと。
- ※2: 適用終了年月の終了年月が決定していない場合は、「999999」を設定すること。
- ※3: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項:「年月」欄参照。(P.42)
- ※4: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。(P.31)
- ※5: 設定する内容はサービス種類コードごとに同一とする。同じサービス種類内に定率、定額が混在しないように設定すること。
- ※6: 「利用者負担定率／定額区分」が定率の場合、「給付率」を設定する。  
「給付率」は「100分の〇〇〇」の〇〇〇部分を「1～100」で設定することとする。例えば、90%の場合は「90」、利用者負担額を0円にする場合は「100」を設定する。  
また、「給付率」には以下の区分ごとに同一の値を設定すること。
- ・ケアマネジメント
  - ・ケアマネジメント以外のサービス種類全て(サービス種類コードごとに異なる給付率を設定することはできない)
- ※7: 「利用者負担定率／定額区分」が定額の場合、「利用者負担額」を設定する。「利用者負担額」は、算定単位ごとの利用者負担額を円単位で設定する。例えば、利用者負担額を1回100円にする場合は「100」、利用者負担額を0円にする場合は「0」を設定する。
- ※8: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項:「年月日」欄参照。(P.42)
- ※S: 固定長形式で表現する場合の「符号付き形式項目」。  
なお、※Sが付加されていない数字属性項目は、「符号なし形式項目」である。

〈参考：コード一覧〉

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
8	算定単位	数字	2	01: 1回につき 02: 1日につき 03: 1月につき 05: 1週間につき
10	算定回数制限期間	数字	2	01: 1月につき 08: 1日につき 16: 1週間につき
11	支給限度額対象区分	数字	1	3: 区分支給限度額管理の対象
12	利用者負担定率／定額区分	数字	1	1: 定率 2: 定額
15	二次予防事業対象者実施区分	数字	1	1: 実施不可 2: 実施可
16	要支援1受給者実施区分	数字	1	1: 実施不可 2: 実施可
17	要支援2受給者実施区分	数字	1	1: 実施不可 2: 実施可

## レコード構成図

介護予防・日常生活支援総合事業単位数表マスタの構成



ファイルは証記載保険者番号単位に、1ファイルとして作成する

## 付録—1. 作成者名簿

作成者（社名五十音順）

玉置 直人	日本電気(株)
鴻谷 則和	(株)日立システムズ
高橋 和彦	(株)日立システムズ
武本 泰幸	(株)日立製作所
畠山 仁	富士通(株)
東山 孝生	富士通(株)
村上 知子	富士通(株)

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2013/3/12	Ver. 1.0	初版

(JAHIS技術文書 12-106)

2013年3月発行

保険者（市町村）－地域包括支援センター間インタフェース仕様書

Ver. 1.0

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号

(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)